

深い谷間をいきおいよく流れる上流

上流のようす

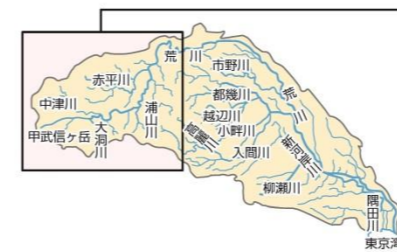
川が山地のあいだを流れる上流部では、川のかたむきが急で、流れが速く、川底や岸をけずりにとって、深いVの字のような谷をつくりまします。川はばはせまく、川原もほとんどなく、大きな岩や石がころがっています。

川の水が川底や岸をけずりをとることを、しん食作用といいます。



①上流の様子 (岩がごっごつしている)

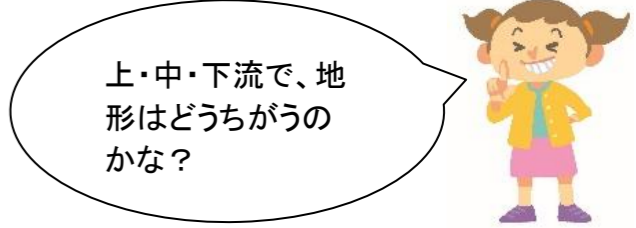
荒川上流部の地形



道路
鉄道
荒川の流域範囲



②秩父盆地を流れる荒川

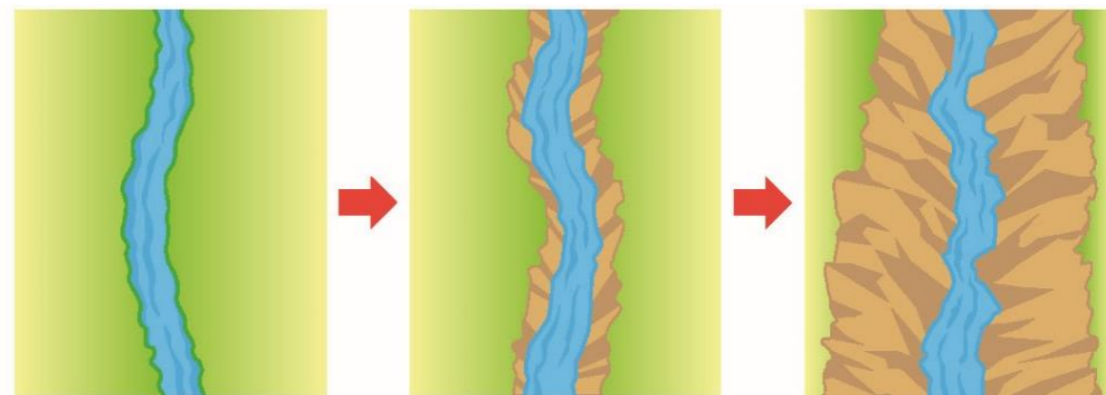


上・中・下流で、地形はどうちがうのかな？

上流部に盆地をつくる日本の川

山地の間にできた平地を盆地といいます。この盆地が上流部によくあるのが、日本の川の特ちょうの一つになっていて、荒川も秩父盆地の中を流れています。

川の豆知識 川がV字谷をつくるようす



上流部では、かたむきが急で、流れが速く、川底や岸をさかんにけずります。

けずられた川底がだんだん深くなるにつれて、川岸にある岩がくずれてきます。

そして、両岸ががけのようになり、川はばのせまい河道ができます。